2025年度

和光大学 第2弾 × さがまちカレッジ

蔦屋重三郎 異界のエンターテインメント

NHK大河で話題の！

2025年1月から放送されているNHK大河ドラマ『べらぼう ～蔦重栄華乃夢噺～』の主人公 蔦屋重三郎。
稀代の名プロデューサー、蔦屋重三郎が活躍した新吉原遊廓は通と粋の世界、まさに非日常の異界。
江戸っ子の自慢は「箱根からこっちに野暮と化け物はなし」でしたが、実際はどうでしょう？蔦重と仲間たちの作品群から、江戸文芸の世界を覗いてみましょう。

稲葉（いなば） 有祐（ゆうすけ） 先生

2020年4月、和光大学表現学部に准教授として着任し、現在は教授。専攻は、日本近世文学・俳文学を中心とした日本文学。漢文学との接点などにも関心を寄せている。

9月26日（金）

14:30-16:00

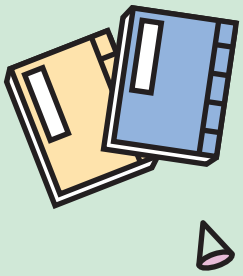
相模原市南区相模大野3-3-2-301
bono相模大野サウスモール3階
ユニコムプラザさがみはら
セミナールーム1

定員30名（高校生以上の方）

1,200円 ※運営費・保険料含む

8月31日（日）申込締切

お申込は、こちら！



映画「釣りバカ日誌」シリーズの魅力を紐解く

角尾（つのお） 宣信（よしのぶ） 先生

2020年4月、和光大学表現学部に専任講師として着任し、現在は准教授。専攻は戦後日本文化史で、風刺映画・喜劇映画などを中心に研究している。

お申込は、こちら！

10月25日（土）

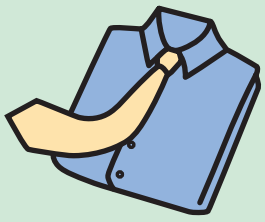
14:00-15:30

町田市玉川学園2-19-12
玉川学園コミュニティセンター
多目的室1AB

定員30名（大学生以上）

1,200円 ※運営費・保険料含む

9月21日（日）申込締切



西田敏行演じるグータラ平社員「浜ちゃん」、三國連太郎演じる真面目な社長さん「スーさん」。立場も性格も全く異なる2人が釣りを通じて人間味あふれるユーモラスな関係を紡ぐ映画『釣りバカ日誌』シリーズ（松竹、1988-2009年、全22作品）。約20年にわたり愛された、その魅力とは何なのでしょうか？
本シリーズ以前のサラリーマン・イメージの系譜もたどりながら、そこからの変容や、昨年惜しまれつつも亡くなった西田敏行自身の俳優としてのイメージも含め、考察します。

主催：さがまちコンソーシアム　college@sagamachi.jp　TEL042-703-8535　協力：和光大学　kikaku@wako.ac.jp　TEL044-988-1433